

第5次南国市総合計画(素案)に関するパブリックコメントの結果について

1. パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間

令和8年1月16日（金）～令和8年2月5日（木）まで

(2) 意見の提出者数 1名

(3) 意見の提出者件数 1件

2. 意見の概要と市の考え方

N0	頁	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方 (回答)
1	P19 P26 P28 P30 P52 P54 P56～	中学生が… 視点2 将来像 まちづくり目標 体系（図？） 参加・体験型観光 そだてる 地域教育	(左頁、該当箇所 横断的なこととして) ・南国市の魅力として、すでに一定程度認知されているやなせさん物語、ものづくり等とは違う視点が、中学生たちの意見に表れている ⇒ 自然・風景に関するアピールなど ⇒ 将来像【「みどり」輝く】目標1「…心地がよいまち」等掲げていると推察 ・にもかかわらず、体系以降の内容は従前からの継続・喫緊の課題・施策が中心、上記の観点が見当たらない ⇒ 将来像へのビジョンが欠けているように感じました 上記の対応案として、下記いかがでしょうか? ・観光、地域教育、文化活動、地域コミュニティ活動の充実を横断的な取組みで結び、地域住民のほか、中高生、海外籍・移住人材などの参画による活動を、文化財保護項目で表	地域の皆様、学生など多くの参画により、本市の自然・歴史をアピールする取組を、庁内横断的な実施体制で進めるべきとのご意見、ありがとうございます。 総合計画の将来像に向けたビジョンが欠けているとのご指摘については、5年後の後期計画策定に向け検討を進めてまいります。また、本市の魅力発信については、個々の取組はあるものの、十分ではないところもございます。ご提案のありましたとおり、まずは

P58 P61	文化活動 地域コミュニティ	<p>記の「府内横断体制」で臨むプロジェクトとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国史級の遺跡と美しい自然風景は一体化しており、興味の視点が多岐にわたり、多様な活動に広がる可能性 ・市民協働の多角的なアプローチを検討し、まずは中学生たちが感じている南国市の魅力を形にしていくなど、教育の場を巻き込んで地元への想い育成、ダイバーシティな交流、新たな観光スタイル等へ展開していくと同時に、モデルケースとして市民協働の意識醸成につなげ、将来にわたる南国市の礎として、市民が主体的にここに住みたいと思える居場所となっていくことが理想 <p>=まちづくり目標3「みんながつながり、支えあうまち」</p> <p>(とっかかり例として)</p> <p>南国市の観光PR動画には、おまちの光景だけでなく美しい自然環境が大写しされていますが、アプローチするための詳細情報（下記例）が不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝はどこにあるの？ アクセスルートは？ ・地域の歴史的な背景は？ ・地質（成り立ち）、周辺植生・生物の情報 ・地域住民にとってのストーリー ・旅程として組み込む場合のおススメコースと所要時間 ・周辺地域のその他お立ち寄りスポット <p>発掘途上の遺跡、特産品栽培の畑、林道の整備など考慮すると、幅広いステークホルダーが存在</p> <p>⇒ 多様なアイデアが生まれる可能性</p>	観光・移住等のPR動画から改善の検討を進めてまいります。
------------	------------------	---	------------------------------

		従前のやり方を超えて、新たな形を模索するチャンスとなるよう、期待しています	
--	--	---------------------------------------	--